

厚生労働科学研究
ICT を利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究
(研究代表者:河北博文)

2025 年度 医師国家試験 CBT トライアル試験 【実施要項】



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

目次

1. トライアル試験の目的	2
2. トライアル試験の概要	3
3. 試験実施の流れ	3
4. 申し込み	4
5. 試験実施日の調整	4
6. 受験者の募集	5
1) CBT 試験のサンプル問題の公開	5
2) 受験者数、イヤホンの必要数の提出	5
7. 試験実施に向けた準備	5
1) PC および試験環境の準備	5
2) 事前の操作システムの動作確認	7
3) 受験 ID およびパスワードの準備	7
8. 試験当日	7
1) 当日の会場内の準備	7
2) 受験者へ ID およびパスワードの配布	8
3) 試験当日の進行・対応	9
4) 試験運営・試験監督	10
9. CBT 試験システムの操作	11
1) 試験システムへのアクセス	11
2) 動作・操作の確認	11
3) ログインおよび試験の実施	15
4) 一時退出と再開	16
10. 結果返却	17
11. その他注意事項	17

1. トライアル試験の目的

公益財団法人日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを理念とし、中立的・科学的な立場で総合的に医療の質・安全の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行っております。

その取り組みの一環として、我が国の医学教育を充実させて医療の質向上を図るために、当機構理事長 河北博文が研究代表者として、2021 年度から 2023 年度まで、厚生労働科学研究「ICT を利用した医学教育コンテンツの開発と活用に向けた研究」を行ってまいりました。この研究では、2020 年 11 月の「医師国家試験改善検討部会」において示された医師国家試験へのコンピュータ制(CBT)の導入の実現に向けて、医師国家試験 CBT トライアル試験(以下、「トライアル試験」という)を実施して ICT を利用した試験システムを新たに構築することを目的に、現行の医師国家試験出題基準に基づき、動画や音声等を取り入れた実臨床に近い CBT 試験問題を作成し、インターネットを介した CBT 試験システムを用いてトライアル試験を実施し、医師国家試験 CBT 化に向けた課題やその対応策について研究してまいりました。

さらに、2024 年度より、厚生労働科学研究「ICT を利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究」(研究代表者:河北博文)(以下、「本研究」という)が採択され、医師国家試験の CBT 化の実現に向けて、継続的にトライアル試験を実施し、医師国家試験 CBT 化に向けた課題やその対応策について研究を進めています。

2024 年度は 52 大学にご協力をいただき、概ね円滑に実施することができ、CBT 医師国家試験の実装に向かって、より実績を積むことができました。

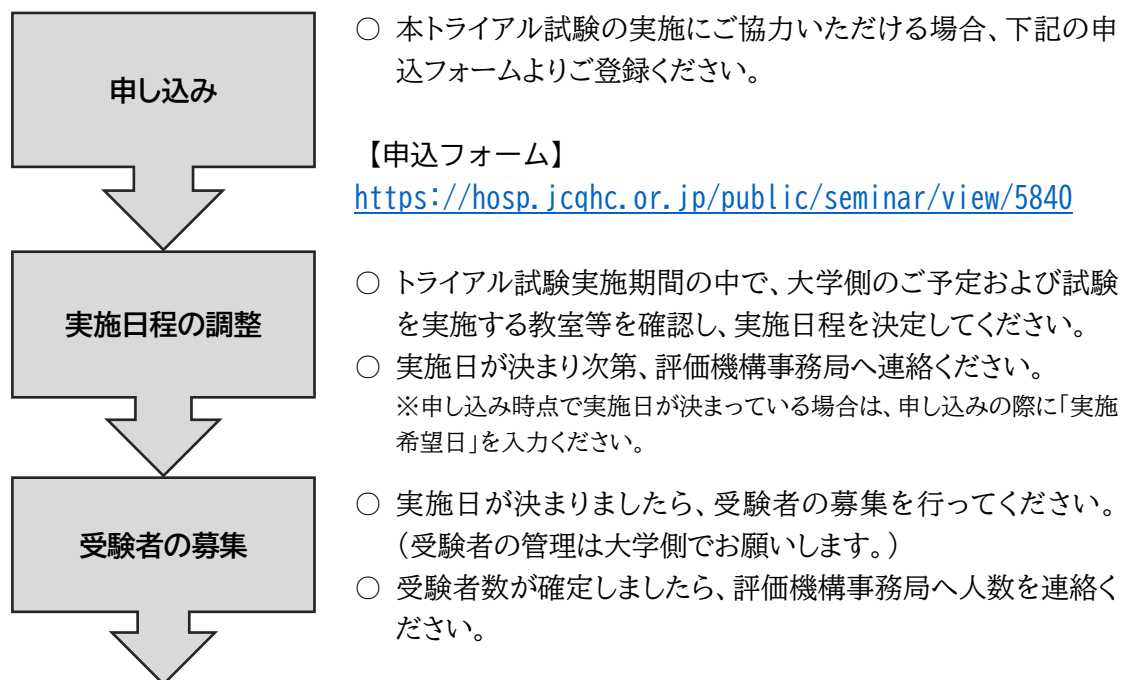
今年度も継続してトライアル試験を実施し、さらに多くの大学関係者と学生に CBT 試験問題に触れていただき、CBT 医師国家試験の実装に向けて、ご理解・ご協力をいただくことを目的に実施します。

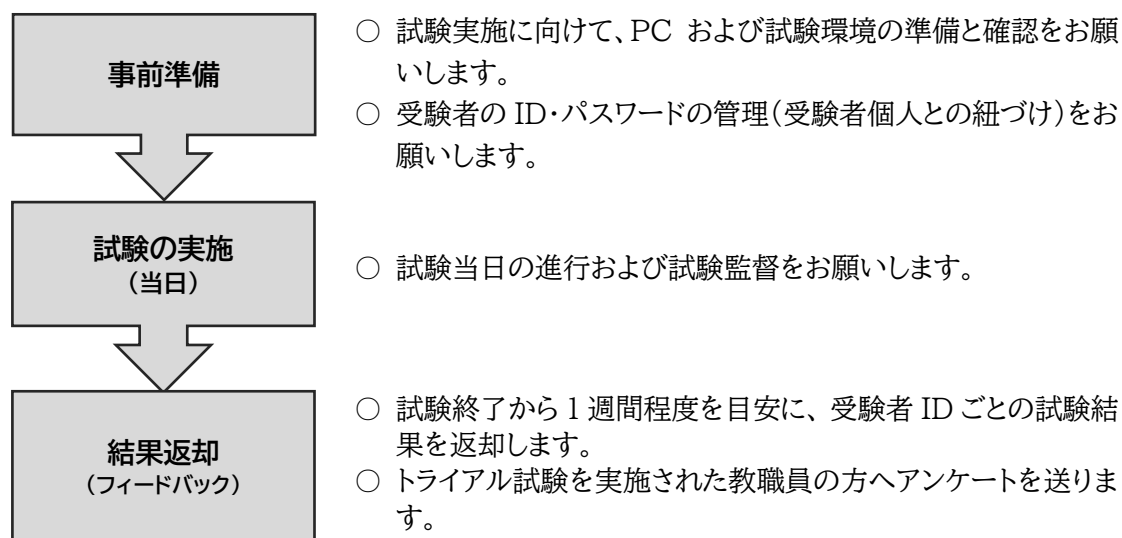
トライアル試験は、本研究の趣旨にご理解いただいた大学と学生の皆様のご協力のもとに実施し、本研究の目的達成のために行うものであり、各学生の試験結果等の比較や公開など、他の目的には使用しません。なお、ご協力いただいた学生と大学に対しては、試験結果および解説等についてフィードバックします。

2. トライアル試験の概要

実施期間	2025 年 9 月 10 日(水)～2026 年 2 月 28 日(土)のいずれか 1 日(土・日・祝日も可)
実施方法	実施大学の PC より、CBT 試験システム※にアクセスして、付与された ID とパスワードでログインし、試験問題に回答します。 ※CBT 試験システムは株式会社内田洋行が運営する TAO クラウドサーバを使用しています。
対象学生	医学部に在籍する 6 年生または 5 年生
出題問題/ 試験時間	医師国家試験に準じて合計 200 問の試験 A 問題 (医学各論) : 75 問 (回答時間 120 分) B 問題 (必修問題) : 50 問 (回答時間 70 分) C 問題 (医学総論) : 75 問 (回答時間 120 分) 試験問題は現行の医師国家試験出題基準に則って作成され、現在の医師国家試験では取り上げていない動画・音声等を含めた臨床推論などの問題も含まれます。
備考	○ 試験問題の順番は、受験生によって異なります。 ○ 試験の結果(得点)、および各試験問題の対象疾患、出題意図、キーワードについて、試験後に大学を通じて個々の受験生へフィードバックします。

3. 試験実施の流れ





4. 申し込み

本トライアル試験の実施にご協力いただける場合、下記の申込フォームよりご登録ください。

登録において、大学の住所および実務担当者の連絡先の記載をお伺いします。試験実施までの当事務局とのご連絡のやり取りや、イヤホン・ボールペン等の備品類の送付先として使用します。

また、申し込みの際、既に試験実施日が決まっている場合は合わせてご記入ください。

【申込フォーム】

<https://hosp.jcqhc.or.jp/public/seminar/view/5840>

5. 試験実施日の調整

トライアル試験の実施について、実施期間(2025 年 9 月 10 日～2026 年 2 月 28 日)のうち、大学側のご予定および試験実施教室などの使用等について調整いただき、試験実施日を決めてください。試験実施日の 2 週間前までには決定し、評価機構事務局までお知らせください。

また、大学側のご都合により、トライアル試験の時間割(開始時間)については調整可能です。パートごとに日程を変えて実施することも可能ですので、変更される場合は事務局までご相談ください。なお、試験時間を変更することはできません。

試験実施日は、大学のご希望日程に沿って決定となりますが、システム上の都合等により調整させていただくことがありますので、その際はご了承ください。

試験実施日が決まりましたら、試験を実施する会場(教室)等を確保いただきますようお願いいたします。また、受験者数により、試験実施会場とは別に受験者の控室など、必要に応じてご手配ください。

6. 受験者の募集

試験実施日が決まりましたら、学生(受験者)への案内を進めてください。募集の方法等は、大学の実施しやすい方法で行ってください。受験者の管理については、評価機構では行いませんので、大学において行ってください。

1) CBT 試験のサンプル問題の公開

CBT 試験の操作方法や画面イメージを事前に掴んでいただくために、操作説明およびサンプル問題を公開します。

受験者の募集の際や、トライアル試験に参加する受験者への事前の参考としてご活用ください。

【ログイン URL】

<https://jcqhc.prod.gcp-jp.taocloud.org/login>

2) 受験者数、イヤホンの必要数の提出

受験者数が確定しましたら、評価機構事務局までメールにてお知らせください。

試験 ID の発行等に数日要するため、遅くとも試験実施日の 2 週間前までにはご連絡いただきますようお願いいたします。

また、トライアル試験では動画・音声を用いた問題がありますので、受験にあたりイヤホンを使用します。受験者数分のイヤホンおよびボールペン等の備品を評価機構にて用意します。

イヤホンは受験者の私物または大学所有のものを使用することも可能ですので、大学側でご用意できる場合など、また昨年度実施した際の余剰分がある場合には、その旨ご連絡ください。

7. 試験実施に向けた準備

トライアル試験は、受験者 1 名に対し 1 台の PC を用意し、各受験者の端末からインターネットに接続し、インターネット上にて試験を行います。

1) PC および試験環境の準備

試験実施前に、事前に試験を実施する環境(PC 端末、使用ブラウザ、ネットワーク等)の確認を行い、事前の動作確認を行ってください。

- (1) トライアル試験で使用する受験者の PC について、外部のインターネットに接続可能な PC を受験者数分ご用意ください。

※本トライアル試験での CBT 問題等の情報漏洩等を防ぐため、受験者所有の私物のパソコンは使用しないでください。

- (2) 試験で使用する受験者の PC について、インターネットに接続できることを確認してください。
(接続は有線または無線どちらでも構いませんが、大学のネットワーク状況でご判断ください。)
- (3) ブラウザは Google Chrome が推奨です。利用不可能な場合は、Microsoft Edge をご利用ください。ただし、初期の Edge は未対応ですのでご注意ください。

【使用する推奨環境】



- (4) ログイン画面にアクセスしやすくするために、可能であればデスクトップ等にショートカットアイコンを各端末に配布するなどしてください。
- 試験当日に、担当者側で事前に開いておくことも可能ですが、万が一、学生が試験の途中でブラウザを閉じた場合は、手入力し直すことになります。可能な限りショートカットアイコンの配布やブックマーク設定などを検討ください。

短縮 URL として https://bit.ly/mcibt_trial と入力しても受験用サイトに誘導されます。
Windows の場合、以下のテキストを .bat ファイルとして保存することで、Chrome / Edge を開いて自動で CBT のページが開くショートカットとして利用することも可能です。

Chrome 用

start chrome.exe

<https://jcqhc.prod.gcp-jp.taocloud.org/login>

Edge 用

start microsoft-edge:

<https://jcqhc.prod.gcp-jp.taocloud.org/login>



2) 事前の操作システムの動作確認

ログイン URL よりアクセスし、パスワード入力欄の下にある「公開セッション」 から動作確認を行います。試験実施日の 1 週間程度前までには必ず実施テストを行っていただき、動作確認を行うようお願いします。

【ログイン URL】

<https://jcqhc.prod.gcp-jp.taocloud.org/login>

「公開セッション」にアクセスすると、利用可能な試験一覧が表示され、「動作検証・操作確認用」が表示されます。「開始する」をクリックし、画面の表示に従って操作してください。

動作確認用の教材を用いて、以下が正しく動作することを確認してください。

※昨年度は「Public sessions」の表記でしたが、「公開セッション」に変更になりました。

3) 受験 ID およびパスワードの準備

試験実施日の2週間前に、受験者数に従い評価機構事務局にて受験 ID とパスワードを発行し実務担当者へメールにて送ります。お手元に届きましたら受験者数等に間違いがないかご確認ください。なお、受験者数に加え、予備のアカウント(ID とパスワード)を複数設定します。

また、受験 ID と受験者との紐付けについては、個人情報が含まれるため、評価機構では管理しません。大学側での管理をお願いします。試験後の試験結果についても受験 ID を元に返却しますので、紐付け情報については確実な管理をお願いします。

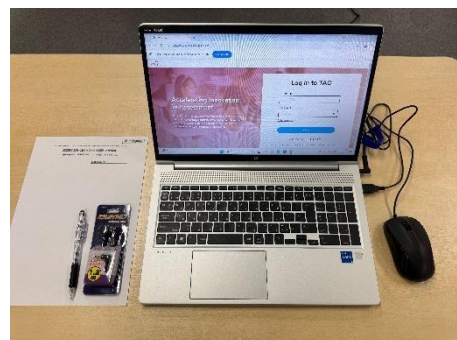
8. 試験当日

1) 当日の会場内の準備

各 PC にイヤホン、ボールペン、メモ帳をセットし、受験者同士の配置は、可能な範囲で不正防止のため間隔をあけるなどの対応をお願いします。

(1) 受験者が使用する PC 端末ごとに、以下の備品を準備してください。

- メモ用紙 1枚
- メモ用のボールペン
- イヤホン



(イメージ)

<試験で使用する備品等に関する注意点>

- ✓ 受験者は、スマートフォン、デジタルカメラなどの電子機器類、筆記用具の持ち込みは不可です。
- ✓ トライアル試験では、基本的に手回り品は、座席には一切持ち込み禁止です。ただし、時計機能のみの腕時計、目薬などは持ち込み可能とします（スマートウォッチは不可となります）。
- ✓ 入室時に持ち込んだ手回り品、およびスマートフォン、タブレット、ウェアラブルデバイスなどの電子機器は、あらかじめ用意された所定の場所に置いて、受験する PC が用意された場所に着席してください。
- ✓ 試験に必要な筆記用具（ボールペン）は評価機構で用意するものを配布しますので、筆記用具の持ち込みも禁止です。
- ✓ メモ用紙は指定のフォーマットを使用し印刷してください（両面利用可能）。また、原則、試験終了ごとに回収してください。
- ✓ メモ用紙のフォーマットを評価機構で用意しますので、印刷して受験者へ配布してください。メモ用紙は、A 問題、B 問題、C 問題ごと試験終了後回収して、新しいシートを配布してください。回収したメモ用紙は試験終了後に破棄してください。
- ✓ 試験で使用するイヤホンは、必要個数を評価機構より手配します。試験実施後、使用したイヤホンは持ち帰り、または廃棄処分してください。

(2) 試験会場に時計など、受験者が時間を確認できるように設営してください。

(右の写真は、昨年度参加大学の1例です。)



2) 受験者へ ID およびパスワードの配布

試験直前に各受験者へ ID とパスワードを配布してください。途中退出した場合や昼休み明けの時間等では、自動でログアウトされることがありますので、受験中はいつでもログインできるよう、受験者は常に ID とパスワードを参照できるように周知しておいてください。

医師国家試験 CBT トライアル試験 〇〇〇〇〇大学 学籍番号 : XXXXXXXXX 氏 名 : □□ □□ ログイン ID : ##### パスワード : &&&&&&&&&
--

受験者へ配布する ID・パスワード票（イメージ）

3) 試験当日の進行・対応

<当日の試験スケジュール例>

時間	実施項目
08:30	集合
08:40 ～ 09:00	オリエンテーション・操作確認
09:00 ～ 11:00 (120 分)	A 問題(医学各論)
11:00 ～ 11:20	休憩
11:20 ～ 12:30 (70 分)	B 問題(必修問題)
12:30 ～ 13:40	休憩(昼食)
13:40 ～ 15:40 (120 分)	C 問題(医学総論)
15:40 ～ 16:00	アンケート回答
16:00	終了

※当日のスケジュールの調整が必要な場合は、事務局までご相談ください。

特に申し出がない場合は、上記スケジュールで実施となります。

(1) 試験開始前

オリエンテーションが終わりましたら、操作の確認を実施してください。

※ 確実に実施するため、10 分程度は実施時間を確保してください。

試験前に通知された URL にアクセスし、ログイン画面から、配布した ID とパスワードにて各受験者がログインし、事前質問に回答します。

(2) 試験開始 (A～C 問題)

試験監督の開始の合図とともに回答を始め、終了とともに画面を閉じます。

試験開始の時間になったら、画面を更新し、試験を開始してください。

(3) 実施後アンケートへの回答

医師国家試験 CBT トライアル試験に関するアンケート調査へのご協力をお願いします。

C 問題の開始 30 分後から、アンケートへの回答が可能となります。

C 問題の試験が終了しましたら、続けてアンケートへ回答・提出して、トライアル試験は終了となります。アンケートは、試験と同じシステム上で実施します。

4) 試験運営・試験監督

試験当日は、2名～3名の方に試験監督の対応をお願いします。

試験実施にあたり、当日の進行および受験者の対応等以下の運營業務をお願いします。

<試験監督を担当いただく方へのお願い>

- ✓ 当日の受験者の出席確認をお願いします。試験終了後に受験者の数に変更(急遽欠席、体調不良等で早退)等がありましたら、後日評価機構事務局にご連絡ください。
- ✓ 試験開始後、受験者の PC が問題なく作動しているか確認をお願いします。
- ✓ 動画の音声聞こえないなどの PC のトラブルがあった場合は、他の端末から同じ ID・パスワードでアクセスし実施してください。
- ✓ 特定の ID・パスワードでログインができない場合は、予備の ID・パスワードを使用して再度実施してください。
- ✓ 受験者が会場内に不要なものを持ち込んでいないか確認してください。
- ✓ 試験中に受験者の不正行為がないか監視してください。
- ✓ 試験中、受験者は用事があれば挙手をするように指示し、その対応を行ってください。
- ✓ 受験者が、トイレ等で一時離席する場合は、画面がログアウトの状態(ログイン画面に戻った状態)になっていることを確認し、離席を許可してください。
- ✓ A 問題と C 問題は試験開始後 60 分、B 問題は試験開始後 30 分から途中退席を可能とします。退席する際は、「提出する」ボタンを押し、提出され画面がログアウト状態になっていることを確認の上退出を許可してください。一度退出した場合は、次の試験時間まで再入場はできません。
- ✓ 受験者が、遅刻した場合は、A 問題と C 問題は試験開始後 30 分まで、B 問題は試験開始後 15 分まで入場を可能とします。それ以降に遅刻した場合は、受験することができません。
- ✓ 試験途中で体調不良者が出た場合は、無理はせず試験監督の判断で、帰宅等の指示を出してください。
- ✓ その他の入室時の注意事項があれば、大学で適宜指示してください。

9. CBT 試験システムの操作

1) 試験システムへのアクセス

動作確認およびトライアル試験のログイン URL は共通です。

【ログイン URL】

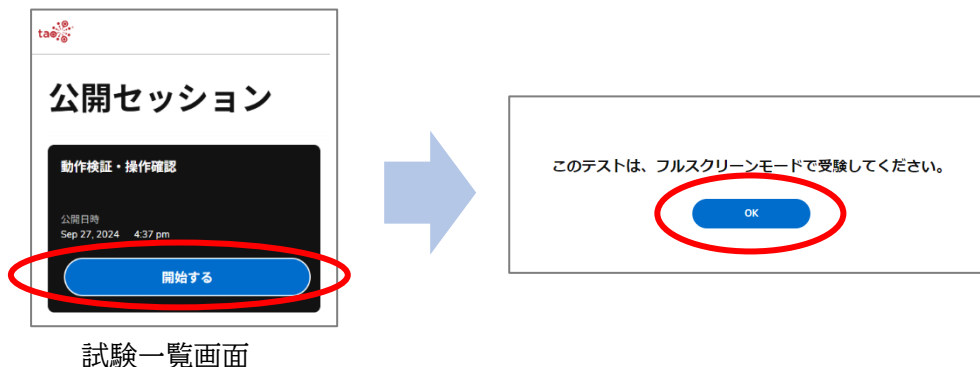
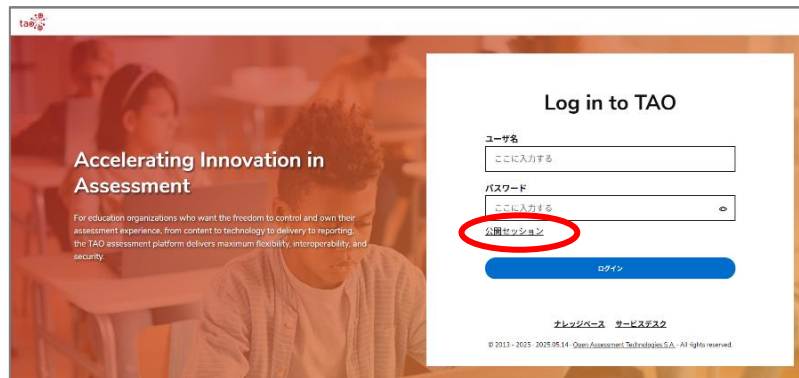
<https://jcqhc.prod.gcp-jp.taocloud.org/login>

2) 動作・操作の確認

ログイン画面の「公開セッション」をクリックし、動作および操作方法の確認を行います。

※昨年度は「Public sessions」の表記でしたが、「公開セッション」に変更になりました。

「公開セッション」にアクセスすると、利用可能な試験一覧が表示され、「動作検証・操作確認」が表示されます。「開始する」をクリックし、画面の表示に従って操作してください。
動作確認用の教材を用いて、以下が正しく動作することを確認してください。



試験の画面は、画面が最大化されます。

タブの操作や、最大化を解除すると試験が停止されますので、ご注意ください。

【設問の回答方法、動画や音声の再生方法の確認】

記載内容、および動画(音声)が問題なく再生されるか確認し、「選択肢2」を選択して、右下の「→」をクリックし次の画面へ進んでください。



< 音声が再生されない場合 >

開始前確認の動画には音声が含まれています。音声が正しく聞こえない場合、以下を確認してください。

- ✓ ヘッドホン(イヤホン)が正しく接続されているか確認してください。念のため、一度抜き差しするなど行ってください。
- ✓ ヘッドホン(イヤホン)に音声調整やミュート機能がついている場合、音声再生されるようになっているか確認してください。
- ✓ PC 自体で音声がミュートになっていないか確認してください。(1)Esc キーを押す、または(2)画面左上の「≡」のアイコンをクリックした後、下部に表示されるログアウトのリンクをクリックする、全画面が解除されて試験一覧の画面に戻りますので、Windows のタスクバー等で確認してください。
- ✓ PC の設定として、音声スピーカーから再生されるようになっている場合があります。上記と同様、Windows のタスクバー等から設定を確認してください。

【操作アイコン、補助機能(設問のフラグ/マーカー(ハイライト)等)の確認】

記載内容を確認し、「確認できた」を選択して、右下の「→」をクリックし次の画面へ進んでください。



【ログアウト方法の確認】

記載内容を確認し、「確認できた」を選択して、右下の「→」をクリックし次の画面へ進んでください。



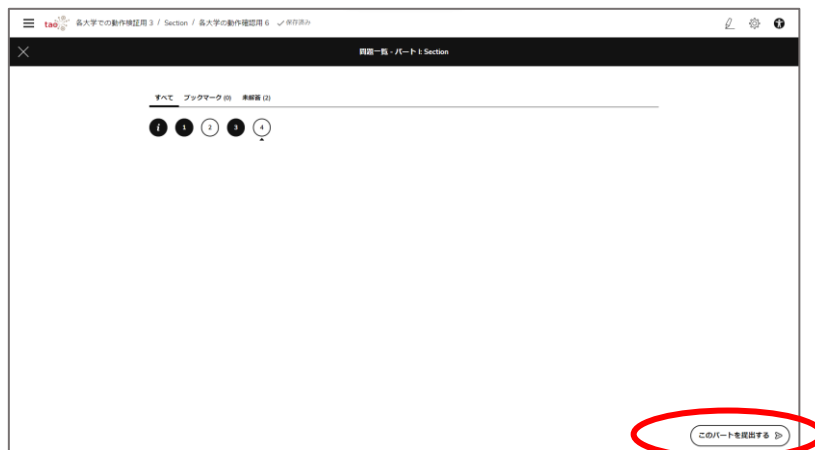
【ブックマーク機能の確認】

記載内容を確認し、「確認できた」を選択して、右下の「→」をクリックし次の画面へ進んでください。



【回答状況の確認】

回答状況(回答済み/未回答)を確認し、右下の「このパートを提出する」をクリックし次の画面へ進んでください。



【試験の終了の仕方の確認】

標記内容を確認し、テストを終了する場合は、「テストを終了する」をクリックしてください。
再度問題画面に戻る場合は、「回答を見直す」または「回答を続ける」をクリックしてください。

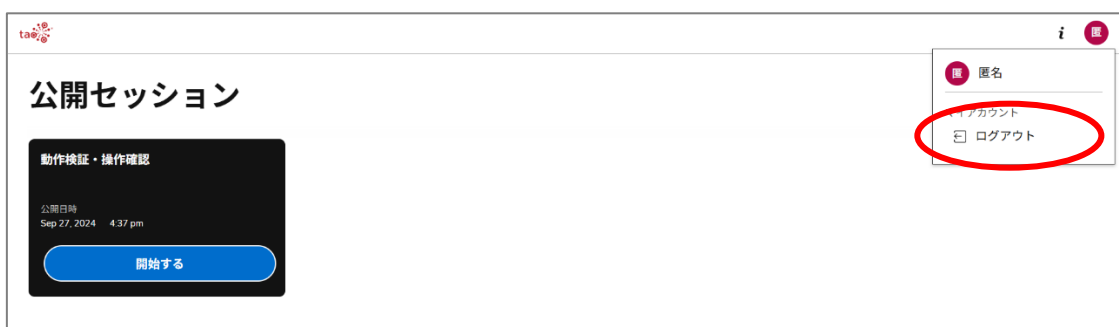
<すべて回答済みの場合>



<未回答がある場合>

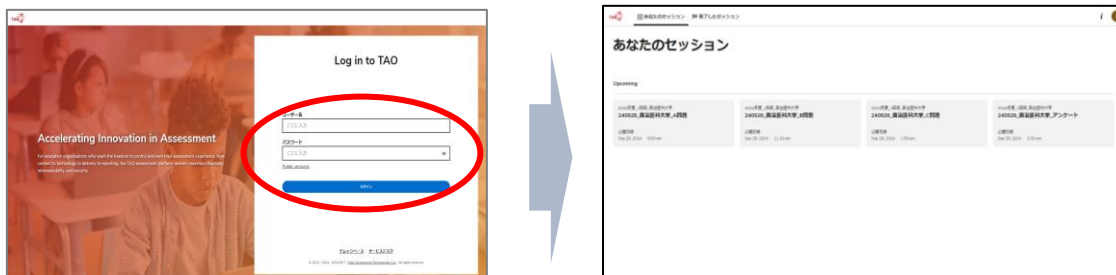


「テストを終了する」をクリックすると、最初の試験一覧画面に戻ります。
右上の「A」のアイコンから、表示される「ログアウト」をクリックして、動作確認を終了してください。

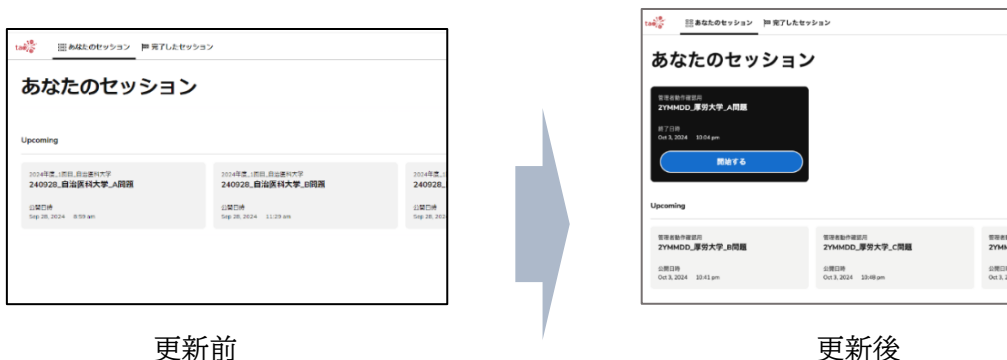


3) ログインおよび試験の実施

ログイン画面より、配布された ID とパスワードでログインすると利用可能な試験一覧が表示されます。(右図)



試験一覧画面には、「事前質問」「A 問題」「B 問題」「C 問題」「アンケート」5項目表示されます。それぞれに回答可能な時間が設定されていますので、時間になると選択できるようになります。



「事前質問」は、ログイン後、試験開始前に回答をお願いします。

※受験者の学年、および結果返却の際の「順位の記載希望」についてお伺いします。

【重要】 各試験の開始時間になったら、ブラウザの画面更新を行ってください。該当の試験が実行できるようになります。

【試験の開始】

試験開始の開始時間になったら、試験監督の合図のもと対象となる試験をクリックし、回答を開始してください。

- ✓ システム上、画面更新を行う際のタイムラグを考慮して、開始時刻には 1 分の遊びをもたせて設定しています。例えば 9:00-11:00 の試験の場合は、8:59 開始として試験時間が設定されています。開始 1 分前を過ぎたタイミングで、適宜、画面更新の合図を出してください。開始ボタンが表示された後は、準備ができた学生から試験を開始させても構いませんし、一斉開始まで待たせても構いません。
- ✓ 試験の終了は、システム側では自動に実施されません。同 P.13 にある、【回答状況の確認】【テスト終了の仕方の確認】に記載の操作で各試験を学生に提出させてください。

4) 一時退出と再開

試験中、トイレ等で一時退室を行う際は、不正防止のため、以下の手順で解除と再開を行ってください。

【一時退出】

試験問題の回答の途中でも、左上の「≡」のアイコンをクリックし、左下に表示される「ログアウト」からログアウトしてください。

それまでに回答された情報は残ったまま、再開することが可能です。



【再開】

離席から戻り、回答を再開する場合は、ログイン画面より再度 ID とパスワードでログインし、実施中である試験の再開リンクをクリックしてください。

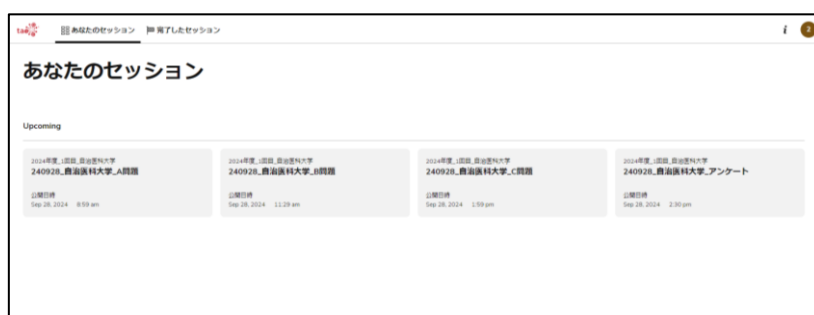


【試験の終了（回答の提出）】

試験の回答が終了し、回答を提出すると、試験一覧画面に戻ります。

次の試験がある場合は、安全のため、一度ログアウトしてください。

なお、ログインしたまま一定時間、操作なしの状態が継続すると、自動でログアウトされます。



10. 結果返却

試験終了から1週間程度を目安に、受験者IDごとの試験結果(得点と順位)、および出題された設問のキーワードや症候一覧(PDF ファイル)を実務担当者にメールにて送ります。大学側で管理されている受験番号・氏名の紐づけデータに従って、受験者に返却してください。

また、返却するシートには、その時点での全国平均点と、希望する学生には学内(または会場ごと)の順位を記載しフィードバックします。

また、結果のフィードバックの案内と合わせて、トライアル試験実施にご担当いただいた教職員の皆様にアンケートのご案内を送ります。今後のトライアル試験の運用、CBT 医師国家試験の実装に向けて、本研究の検討の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いします。

11. その他注意事項

- ✓ トライアル試験の問題は非公開としていますので、画面のスクリーンショットおよび撮影可能な電子機器類での撮影は禁止とします。試験監督者は、この点に十分な注意を払ってください。医師国家試験 CBT 化に備えるため、問題はプールして、IRT の算出などを行いますので、一切公開しません。
- ✓ トライアル試験では、不正行為があった場合は、試験中止の措置を行うことがあります。
- ✓ 万一、インターネットの通信障害などで試験システムにアクセスできない場合は、時間を変更するか、トライアル試験の中止、または延期などの措置を講じることがあります。
- ✓ トライアル試験の実施にあたり、謝礼や謝金などは発生しません。
- ✓ トライアル試験の試験問題は非公開としているため、問題は持ち帰りできません。
- ✓ 当日の緊急連絡先は、実施日により異なりますので、別途個別にご連絡します。
- ✓ 試験中に動画が動かない、PC の動きが悪くなるなどの不具合が生じ、試験実施が困難な状況になった場合、試験を中止することがあります

本研究分担者一覧

[敬称略：研究代表者以下 50 音順]

<研究代表者>

河北 博文（公益財団法人日本医療機能評価機構 理事長）

<研究分担者>

浅田 義和（自治医科大学 医学教育センター 准教授）

岡崎 仁昭（自治医科大学 医学教育センター 顧問）

久保 沙織（東北大学 教育学研究科 准教授）

小西 靖彦（順天堂大学 医学教育研究室 特任教授）

小松 弘幸（宮崎大学 医学部 医療人育成推進センター 教授）

高村 昭輝（富山大学 学術研究部医学系 教授）

内藤 俊夫（順天堂大学 大学院医学研究科 教授）

奈良 信雄（順天堂大学 医学部 客員教授 / 一般社団法人日本医学教育評価機構 常勤理事）

錦織 宏（名古屋大学 医学系研究科 教授）

伴 信太郎（愛知医科大学 医学教育センター 特命教育教授）

藤川 裕恭（順天堂大学 医学部総合診療科学講座 特任助教）

松山 泰（自治医科大学 医学教育センター センター長 教授）

森 博威（順天堂大学 大学院医学研究科 准教授）

河北研究班では、医学教育・臨床実習、臨床研修、生涯教育まで、シームレスな医学教育の全体像を考えて、我が国の医学教育と医師国家試験の充実を図るために、医師国家試験の CBT 化の実現に向けて研究に取り組んでいますが、単に研究だけに終わらせるのではなく、実際に医師国家試験の CBT 化の実施につなげたいと考えています。このためには、全国の大学医学部をはじめ、医学教育に関連する団体のご協力が必要と考えています。

国民から信頼される臨床能力に優れた医師を養成するために、医学教育と医師国家試験の充実に向けて、ご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

2025 年 7 月 11 日

<問い合わせ>

公益財団法人日本医療機能評価機構

医師国家試験・医学教育研究(厚労科研 河北研究)担当

Tel:03-5217-2320 E-mail:info-kakenCBT@jcqhc.or.jp